



**吉岡里帆さんと千葉雄大さんが、UR都市機構の企業CMに初登場！
新企業TV-CM 2025年3月29日（土）から全国で放映開始**



独立行政法人都市再生機構（以下「UR」）は、俳優の吉岡里帆さんと千葉雄大さんを起用した新企業TV-CMを、令和7（2025）年3月29日（土）から全国で放映開始いたします。

本作は、都市の再生事業や、被災地の復興支援事業などを紹介する企業CMです。これまでUR賃貸住宅のイメージキャラクターとして出演いただいていたお二人を、賃貸住宅の枠を超えて企業CMに起用するのは初となります。

物語はナレーターである吉岡さんと、各地を巡る千葉さんの掛け合いで展開。東京都の大手町プレイス、新潟県長岡市の米百俵プレイス、福島県双葉町、大阪市のうめきた公園など、これまでURが携わった「みんなが安心して暮らせるまちづくり」をご紹介しますので是非ご覧ください。

なお新企業TV-CMは、令和7年(2025)3月28日（金）にUR都市機構公式YouTubeチャンネルで公開いたします。

<https://youtu.be/Qw0xNeM27W4>

あわせて、新聞各紙でもお二人を起用した広告を展開予定です。

■新企業TV-CMストーリー

舞台はラジオブースから始まります。ナレーターである吉岡さんがマイクに向かって「URは賃貸住宅だけでなく、都市の再開発を進めたり」と語り出すと、千葉さんはURが再開発を手掛けた東京都の大手町プレイスの前を歩きながら、「ここか～」とまちを見渡します。吉岡さんが「地域の賑わいづくりをお手伝いしています」と重ねると、新潟県長岡市の米百俵プレイスを訪れた千葉さんが「ここもそうなんだ」と感心の表情。吉岡さんの「被災地の復興の取り組みや、災害に備えた防災公園も整備」という説明とともに、千葉さんは福島県双葉町や大阪市うめきた公園といったまちづくりの現場を目の当たりにします。吉岡さんが「URが目指すのは・・・」と語りかけると、

千葉さんが神奈川県みなとみらいから「みんなが安心して暮らせるまちづくり」と続けます。吉岡さんは「そのとおり！」と合いの手を入れ、「社会課題を、超えていく。」というタグラインでCMが締めくくられます。吉岡さんと千葉さんの時空を超えた掛け合いによって、URの事業を紹介するCMとなっています。

■CMの見どころ

吉岡さん、千葉さんの演技はもちろんのこと、スケールの大きな映像も見どころです。撮影にはドローンを活用。新潟県長岡市の米百俵プレイスや、福島県双葉町の復興の現在、大阪市うめきた公園の景観を、普段は見ることのできない空からの視点でとらえています。URが手がける事業の規模の大きさが、ひと目でわかる映像となっています。



■撮影エピソード

今回、吉岡さんはURの事業内容を声で紹介するナレーター役として出演。ラジオ番組「UR LIFESTYLE COLLEGE」で10年間、ナビゲーターを務める吉岡さんは、穏やかなトーンでURが進める事業を紹介。撮影もとてもスムーズに終わることができました。

一方、千葉さんは「URであるボーイ」として、URが取り組む各事業の現場に登場。広い公園では楽しげに、被災地復興の現場では誠実に、と千葉さんの演技力に撮影現場が盛り上がる一幕がありました。

■舞台となった撮影地

・東京都千代田区 大手町プレイス

URは、平成16年から大手町エリアに関わり、老朽化した建物を連鎖的に建替えることで、業務活動を中断することなくエリアを更新することに貢献しています。東京駅の北西約400メートルに位置する大手町二丁目地区において、URは、共同施行者のNTT都市開発とともに再開発事業を実施し、平成30年に大手町プレイスが竣工しました。グローバルビジネス拠点に相応しいオフィスビルを整備するだけでなく、神田エリアと繋ぐ人道橋「竜閑さくら橋」の整備を行ったことも特徴の1つです。

・新潟県長岡市 米百俵プレイス

URは平成26年に長岡市の要請をうけて再開発事業の検討を進め、平成31年に事業認可を受け、令和5年7月に「米百俵プレイス」の一部竣工、先行まちびらきを迎えました。「米百俵プレイス」内の長岡市の施設「米百俵プレイス ミライエ長岡」には、図書館「互尊文庫」と産業振興拠点「NaDeC BASE（ナデックベース）」があり、知識や情報、人と出会う場、イノベーション創出

の場になることをコンセプトに掲げています。洗練され、開放感のある空間が特徴です。

・ 福島県 双葉町

東日本大震災の発災後、町の全域が帰還困難区域となってしまった双葉町。URは平成28年に同町と復興まちづくりの推進に向けた覚書を締結して以降、新しいまちの基盤をつくる復興拠点の整備事業支援、建築物の整備事業支援、まちに賑わいを取り戻していくためのソフト面の地域再生支援など、復興支援事業に従事してきました。双葉町では令和4年に、一部の区域で避難指示が解除され、約11年ぶりに居住が可能となり、駅西側ではURが基盤整備を行ったエリアに公営住宅が整備され入居が始まるなど、現在に至るまで着実に復興まちづくりが進んでいます。

・ 大阪市 うめきた公園

令和6年にオープンした、大阪駅北側に広がる防災公園。ターミナル駅と直結する都市型公園としては世界でも最大規模です。URは平成14年に大阪市の要請を受け、まちづくりの計画策定という初期段階から支援に携わり、以降、関係事業者や自治体との調整役を担いながら土地区画整理事業・防災公園街区整備事業を推進してきました。大阪の中心に広域避難場所としても機能する公園を整備することで、防災機能の向上を図りつつ、都市の中心にみどりあふれる空間を創り出しています。

・ 神奈川県 みなとみらい

CMのラストカットのロケ地です。横浜市6大事業の1つである都心部強化事業として位置づけられ、URの前身である住宅・都市整備公団は神奈川県と横浜市の要請をうけ、昭和58年に土地区画整理事業の事業認可を取得。当時創設された特定再開発事業の第一号であり、大規模かつ先導的な都市開発プロジェクトとしてスタートしました。今や横浜市の顔となり、多くの企業が進出するだけでなく、国内外を問わずたくさんの来街者が訪れています。みなとみらいの程近く、馬車道にはURの本社もあります。

■新企業TV-CMストーリーボード



吉岡さん)
URは賃貸住宅だけ
でなく



千葉さん)
進んできてる



吉岡さん)
都市の再開発を
進めたり



吉岡さん)
災害に備えた
防災公園も整備



千葉さん)
ここか～



千葉さん)
こんな街なかに？



吉岡さん)
地域の賑わいづくりを
お手伝いしています



吉岡さん)
そんなURが
目指すのは



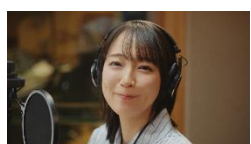
千葉さん)
ここもそうなんだ



千葉さん)
みんなが安心して
暮らせるまちづくり



吉岡さん)
さらに



吉岡さん)
その通り！



吉岡さん)
被災地の復興の
取り組みや



吉岡さん・千葉さん)
社会課題を、超えていく。
URであ～る♪

■出演者プロフィール

◇吉岡 里帆 <RIHO YOSHIOKA>

1993 年 1 月 15 日生まれ。京都府出身。

2015 年、『あさが来た』で NHK 連続テレビ小説に初出演を果たす。第 43 回 日本アカデミー賞に映画『見えない目撃者』『パラレルワールド・ラブストーリー』で新人俳優賞、第 46 回 日本アカデミー賞に映画『ハケンアニメ!』で優秀主演女優賞、第 49 回報知映画賞に映画『正体』で最優秀助演女優賞を受賞。現在映画、ドラマ、舞台などジャンルを問わず活躍している。近作に映画『怪物の木こり』（2023）、『まる』（2024）、『ファーストキス 1ST KISS』（2025）、ドラマ『ガンニバル』（2022）、『時をかけるな、恋人たち』（2023）、『忍びの家 House of Ninjas』（2024）、『御上先生』（2025）、『ガンニバル シーズン 2（2025）』など。待機作に今夏公開予定の映画『九龍ジェネリックロマンス』、秋公開予定の『THE オリバーな犬、(Gosh!!) このヤロウ MOVIE』など。

◇千葉 雄大 <YUDAI CHIBA>

1989 年 3 月 9 日生まれ。宮城県出身。

2010 年『天装戦隊ゴセイジャー』（テレビ朝日）の主演に抜擢され、役者として活動を始める。以降、CM やドラマ、映画に多数出演。書籍「喋って食って零キロカロリー」（ワニブックス）が発売中。WEB ラジオ『千葉雄大のラジオプレイ』（YouTube）が隔週金曜日配信中。

■新企業TV-CM概要

放映開始日：令和 7（2025）年 3 月 29 日（土）

放送地域：全国

■制作スタッフ

CD：佐藤大悟 CW：勝浦雅彦 AD：高島新平 CP：中島康恵/ユングニッケル楽

Pr：高砂子哲也 PM：米田正人/上野大和

演出：宮田孝三 撮影：翁長周平 照明：宮木進一 美術：吉田透

スタイリスト：下山さつき（吉岡里帆）／澤田美幸（千葉雄大）／日座一恵（サブキャスト）

ヘアメイク：池上豪（吉岡里帆）／平山直樹（千葉雄大）／中原 康博（サブキャスト）

ミキサー：木野武 編集：酒井よう（仮編集）／北嶋順（本編集）

音楽：川村昌司 ドローン撮影：遠藤祐紀

DIT：大舘悌介 CG：梶原伸博

キャスティング：中村岬・吉沢綾音（タレント）／小寺 泰史（サブキャスト）

＜本件に関するお問い合わせ先＞

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

UR広報事務局（電通 PR コンサルティング内）

担当：中江 TEL：070-5073-2133 MAIL：yukino.nakae@dentsuprc.co.jp

【本件に関する一般のお客様からのお問い合わせ先】

UR都市機構

広報室 広報課 担当 古櫛山 大西 TEL：045-650-0887

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

